



令和8年度 鹿児島県立いろは中学校 (Episode2)

<経営の基底>

- 1 公教育の本質に立つ教育を推進する。(教育基本法, 学校教育法, 学習指導要領, 県の方針等)
- 2 年齢, 経験又は勤労状況その他の実情を踏まえた教育課程を創造する。
- 3 開校初年度の教育実践を踏まえつつ, さらなる本県の実態に即した教育を模索する。



【めざす学校の姿】

- 1 様々な年齢, 国籍, 背景をもつ生徒の居場所となる学校
- 2 自分のよさに気付き, やりたいことを見付けられる学校
- 3 「学びたい」という思いに応え, 誰一人取り残さない学校
- 4 全ての生徒, 教職員が, 幸せや豊かさを感じられる学校

学校教育目標

**いろは中学校に誇りを持ち
ともに学ぶ喜びを感じながら,
新たな自分を切り開く生徒の育成**

スローガン
行き(生き)がいのある学校

【めざす生徒の姿】

義務教育段階の学びに納得できた生徒

【めざす教師の姿】

- 1 生徒の心情や背景の理解に努め, 心に寄り添える教師
- 2 生徒の頑張りや成果を伝え, 夢や目標に向けて伴走する教師
- 3 学習状況の把握に努め, 学習内容や指導方法を工夫し続ける教師
- 4 同僚と共に, 教育活動を創造することにやりがいを感じる教師

5つの経営方針

自立した学習者の育成	安心・安全な生活環境の確立	自己肯定感の高揚
「学びたい」という気持ちを大切にしながら, 学びへの満足感を満たし, 卒業後も自ら学べる力を育成する。	人権教育は全ての教育の基本との認識の下, 生徒の環境や背景を踏まえて, 生徒が力を発揮できる環境を確立する。	「学びたい」という高い志をもち, 夢や希望をもって, 本校で学んでいることを自覚できるようにする。
<ol style="list-style-type: none"> 1 誰一人取り残さない <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数教員指導体制整備 (PST) ・ 学習指導内容の精選 ・ コース別の役割の明確化 ・ 全教職員で日本語指導 ・ 「いろはタイム」での個別指導 ・ 欠席時のアーカイブ配信活用 2 知的好奇心を満たす授業作り <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問できる雰囲気と時間設定 ・ 生徒からの質問を生かす ・ 振り返り (単元や一単位時間) 3 タブレット端末の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ AIドリルで「分かった」実感 ・ ロイノートによる授業参加 ・ 検索する習慣(いつでも手元に) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 より一層の生徒理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「こんばんは」, 「また, 明日」 ・ 個に応じた寄り添い ・ 家族, 卒業校等からの情報収集 ・ 教育相談の充実 ・ 一人一人の行き(生き)がいの把握 ・ SC, SSWの活用 ・ 「～でいいんですよ。」 2 生徒同士の相互理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流活動, 体験活動の推進 ・ 多文化共生の文化づくり ・ 個に応じた集団への参加 3 ほっとステーションの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ リラックス空間の創出 ・ 交流の場としての工夫 	<ol style="list-style-type: none"> 1 よさや頑張りを認める場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の職業経験, 人生経験を生かした授業「生徒が先生」 ・ 学校・学級便り, SNS等の活用 ・ 作品の掲示 (教室・廊下) 2 自治的な活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事における企画運営 (実行委員会の立ち上げ) ・ やりたいことが叶うクラブ活動 ・ 学校・友達へ貢献する場 3 キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部・内部人材(教職員・生徒)の生き方を学ぶ, あこがれをもつ ・ 進学・職業選択への助言 ・ 他県の夜間中学との交流

Episode I を凌ぐ教育活動

開校初年度の実践にとらわれず, 「行き(生き)がいのある学校」づくりのための教育活動をさらに創造する。

- 1 組織の力の発揮
 - ・ 定期的な熟議 (学年部会, 教科部会, チーム部会)
 - ・ 授業者とPSTとの授業打合せ
 - ・ 小学校文化と中学校文化の相乗効果
- 2 他県夜間中学に学ぶ
 - ・ 視察やHP等で情報収集し, 本校での実施を検討

持続可能な学校の創出

学校の教育活動を積極的に発信し, 県内の学び直したい方に対して情報を届ける。

- 1 ニーズのある方への情報発信
 - ・ ホームページの充実 (生徒の声, 学校紹介動画等)
 - ・ インスタグラム, X等のSNS活用
- 2 入学説明会, 生徒募集
 - ・ 積極的な広報 (イベント参加, チラシ配り)
 - ・ 聴講生の受入検討